

ちゅうくんと いっしょ

キンターブック じゅにあ 3月号

表紙の
絵から



ちゅうくん、りいくん、みいちゃんが、野原でなかよく遊んでいます。花冠などの草花遊びに注目して、「みんなは、野原で何をして遊びたい?」などと話し合ってみてください。春になると、ひとつ大きな組に進級することを伝え、春の訪れを喜ぶきっかけになるとよいですね。



おおきくなつたね

ねらい この1年間で成長した喜びを感じ、進級への期待をふくらませましょう。



「ちゅうくんもりいくんも、水やりの順番を待っているね」「みいちゃんは『つぎ、どうぞ』って渡しているね」と、みんなが気持ちよく順番を待っている姿に注目してください。「みんなも順番を守れるようになったかな?」などと、子どもたちができるようになったことを確認してみましょう。



3人それぞれができるようになったことを見てみましょう。「みんなは、ほかにできるようになったことはあるかな?」と問いかけて、自分自身のこととして捉えられるように、1年間の成長を振り返ってみてください。

「みんなはこれからひとつ大きな組のお兄さんお姉さんになるね」と話し、「大きな組になったら何がしたいかな?」と尋ねて、子どもたちにとって進級が楽しみになるように、話をはずませましょう。



はるの うさぎ

ねらい 春が来る喜びを感じながら、うさぎになりきって楽しんで読みましょう。



「耳が長いね」「ジャンプがじょうずだね」などと、うさぎの特徴に気づかせましょう。跳び方をまねっこしても楽しいですね。春はいろいろな虫や花が見られることにもふれ、春の訪れに興味を広げましょう。



みみと くるる

ねらい 友だちの気持ちを想像し、自分だったらどうするかを考えましょう。



けんかをしてしまったみみとくるるの気持ちを考えてみましょう。「友だちにいじわるをしちゃったときは、どうしたらいいかな?」などと聞いかけて、友だちとの関わり方を考えるきっかけになるとよいですね。



「キンターブックじゅにあ」を保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
 「おおきくなつたね」	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができるようになったことをことばで話す。 進級することに期待をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前はできなかったがいまはできるようになったことを、子ども自身が感じられるように、ことばを引き出すような対話をする。 進級の意味を子どもたちにわかりやすく話し、ひとつ上のクラスに上がることについての喜びを感じられるようにする。 	 
 「はるのうさぎ」	<ul style="list-style-type: none"> うさぎの特徴を知る。 うさぎになりきって遊ぶ。 季節の自然に興味をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面の写真をよく見ながら、うさぎの特徴に子どもたちが気づけるように話す。 春にはどんな生き物がいるか、どんな花が咲くかなど尋ね、季節の移り変わりに興味をもたせる。 子どもたちがうさぎになりきって遊べるよう、保育者もうさぎのポーズやまねっこをして、楽しい雰囲気を作る。 両足でその場跳びジャンプや、前跳び、横跳びなどいろいろな跳び方で遊べるように工夫する。 	 

